

## (集団研修3) チャレンジ・ザ・ゲーム

### 1 ねらい

チャレンジ・ザ・ゲームは、「記録への挑戦ゲーム」で、2人から12人程度のグループが、年齢や性別などの制限もなく、いつでも、誰でも行える、みんなで楽しめるスポーツなので、集団での親睦を深めたり、団結力を育てたりすることができる。

公益財団法人 日本レクリエーション協会の推進するプログラムである。

### 2 対象 小学3年生～

### 3 所要時間 60分～

### 4 経費 無料 ※体育館等の使用料が掛かります

### 5 活動の概要

(1) チャレンジ・ザ・ゲームの5種目のなかからゲームを選定します。

- ① キャッチング・ザ・スティック ② ペア・リング・キャッチ ③ ネット・パス・ラリー  
④ ロープ・ジャンプ・EX ⑤ むかで・タイム・レース10

(2) ルールに則った用具を用意する。

公認用具か、またはルールに則った用具。

(3) けがや事故が発生しないように十分な対策と配慮を行う。

(4) ルールを理解して練習をする。

### 6 準備物

(1) 各団体・・・筆記用具

(2) 自然の家で

①キャッチング・ザ・スティック	②ペア・リング・キャッチ	③ネット・パス・ラリー
		
④ロープ・ジャンプ・EX	⑤むかで・タイム・レース10	
		

### 7 実施上の留意点

- ・けがのないように準備運動を行う。
- ・全体の人数に応じた種目選択とグループ分けを行う。

## 8 プログラム例（3種目ローテーション…120分コース）

研修名「チャレンジ・ザ・ゲーム」

時間	場 所	内 容	備 考
2分	体育館	整列	各団体で研修場所へ集合 1. 整列（種目ごとグループ） 準備物：自然の家 （1）キャッチング・ザ・スティック （2）ペア・リング・キャッチ （3）ネット・パス・ラリー （4）ロープ・ジャンプ・EX （5）むかで・タイム・レース10 グループ数をみながら準備
8分		あいさつ 全体で注意事項を聞く。	2. あいさつ 3. 注意事項について ・用具の、棒やリングなど子ども達が振り回さないようにさせる。 指示をよく聞き、周囲に注意させる。 ・ルールをきちんと守ることを説明する。
1種目につき 20分 (練習) 10分 (挑戦) × 3種		ゲームのやり方を覚え練習  ゲームの記録に挑戦 ※3種目をローテーションする。	4. グループごとゲームの説明を受け練習する。 ・要領を理解させる ・練習時間：(20分) 5. グループごとに記録に挑戦する。 (10分)
10分		途中水分補給等をいれる。	
10分		記録発表  感想発表	6. 各グループの記録発表を聞く。  7. 感想を発表。

※2～3種目を組み合わせての実施も可能です。（実施時間…90分～120分程度）ご相談ください。